

## ○インスペクターからのコメント（61回）

まだまだ虫の問題や浸食の問題等がありますが、自分たちの小さな努力である程度まで防げる問題もあるので、力を合わせて解決していきましょう。これまでやってきたことは、50年後、100年後まで残るものなので、完成の時の喜びを夢見て、がんばっていきましょう。

岡村  
インスペクター

自然を切り取る前提で山の中に道をつくりますから、自然への影響を承知した上で、自然に対する負荷をいかに少なくするかという点が重要な問題です。今まで積み上げてきた活動の成果がきちんと理解していただけると、その点が非常に重要なことだとわかっています。私はこんなにやってるんだよ、という誇りをもって、もう一度気を引き締めてよろしくお願いします。

大竹  
インスペクター

タヌキに代わってお札を言いたいくらいのトンネルが出来上がりましたね。でも、こうして生き物と共にやってきたことがベストだとは思っていません。まだまだ考えてやらなければいけないことがあります。やれることが次々でできます。私はこんなにやってるんだよ、という誇りをもって、もう一度気を引き締めてよろしくお願いします。

長谷川  
インスペクター

◆ 平成22年度上半期の施工ワーキング開催予定をお知らせします！  
7月25日（日）、9月12日（日）に開催します。

## 《相生山緑地の道路建設に係る学術検証委員会》

平成22年4月2日（金）、「第3回相生山緑地の道路建設に係る学術検証委員会」が開催されました。詳細については名古屋市公式ウェブサイトでご覧いただけます。

## 【第3回会議の開催結果について】

<http://www.city.nagoya.jp/shisei/jyoho/jyoho/suishin/kaigikoukai/kaigikeka/>

## 【会議の開催について】

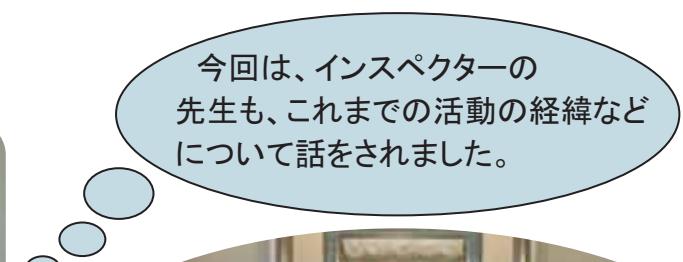
※日程が決まりしだい下記のアドレスでご案内させていただきます。

<http://www.city.nagoya.jp/shisei/jyoho/jyoho/suishin/kaigikoukai/kaigioshirase/>

## 第3回委員会のようす



毎回、多くの市民の方が熱心に傍聴され、関心の高さを感じます。



今回は、インスペクターの先生も、これまでの活動の経緯などについて話をされました。

今後は、相生山のヒメボタルを観察したあと、再度委員会で検討を行う予定です。

## 問い合わせ先

名古屋市 緑政土木局 道路部 道路建設課内 「環境に配慮した道づくり」施工ワーキング事務局  
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号  
電話：052-972-2865 FAX：052-972-4168  
<http://www.city.naoya.jp/shisei/jigyoukeikaku/douro/kankyo/>

「環境に配慮した道づくり」施工ワーキングだより 第47号

# 施工ワーキングのススメ



## ● 第61回施工ワーキング

平成22年3月14日（日）に第61回施工ワーキングを開催し、21名が参加しました。

今回は、「第2回 相生山緑地の道路建設に係る学術検証委員会」の内容について事務局から報告がありました。

学びの時間として、エコロードについて長谷川インスペクターのお話を聴きました。また、今年度最後の施工ワーキングということで、平成22年度のスケジュールについても確認しました。

## 第61回 プログラム

1. 第2回相生山緑地の道路建設に係る学術検証委員会の開催について
2. 前回の確認
3. 平成22年度のスケジュールについて
4. エコロードについて学ぼう
5. グループ活動

## ◇ 歩道設計案の確認

第59回、第60回の施工ワーキングでは、歩道の設計案について話し合いを進めてきました。そのまとめとして今回の施工ワーキングで決定内容を確認しました。

## 《設計での配慮事項》

## ◆ 幅員・路面標示 ◆

- 路面の色を変えるなどして、歩行者と自転車の通行する空間を分ける
- 歩行者通行幅 … 2メートル（道路構造令より）
- 自転車通行幅 … 1.5メートル
- 自転車マークは、下り方向の自転車が車道寄りに誘導されるように設置する

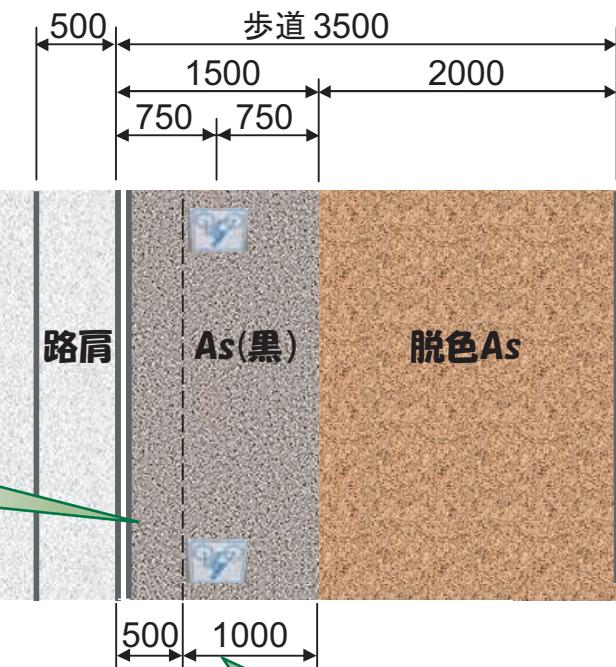
## ◆ 舗装 ◆

- 自転車は滑らかな舗装の方が走りやすい
- 歩行者の歩く所は明るい色の舗装がよい

## ◆ その他 ◆

- 車道を走っていた自転車が、歩道内に入るように出入口を設ける
- 出入口は、2号橋の東側とシェルター構造の東側の2か所に設置する

※ガードレールや照明灯などの施設が設置される範囲



## 《今後決めること》

- ◆ 路面標示設置間隔は、舗装後、現地で確認して決めます
- ◆ シェルター構造東側の見通しが良くないため、自転車や歩行者の接触を防ぐ方法を検討していきます

スムーズに走れる幅員のうち、車道寄りに自転車マークを設置します